

4/6(木) 4/15(金)

※4月10日は「交通事故死ゼロを目指す日」です。

子どもをはじめとする歩行者の安全確保

- ▶歩行者も交通ルールを守ろう
- ▶「ゾーン30プラス」で安全安心な通行空間を

歩行者保護や飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上

- ▶横断歩道は歩行者優先
- ▶飲酒運転を絶対しない、させない
- ▶安全運転サポート車(サポカー)を選ぶ

自転車の交通ルールの遵守の徹底と安全確保

- ▶自転車は車の仲間です
- ▶交通ルールを守りましょう

の全国交通安全運動

警察職員 Recruitment 大募集



警察官の仕事は県民の皆さんの安全安心な暮らしの実現に繋がっている、非常にやりがいのある仕事です。受験申込をお待ちしております。

募集期間 3/15(火) 4/13(水) 第1次試験 5/8(日)

応募資格 昭和62年4月2日以降生まれで大学(短期大学を除く)を卒業した方もしくは令和5年5月31日までに大学を卒業する見込みの方

問い合わせ 三重県警察本部警務課採用係 TEL 059-222-0110 (内線 2644・2648)



制作開始 孤野町偉人マンガ

ふるさとの偉人を通じて、郷土や未来の展望を考えるきっかけにしておらおうと「孤野町偉人マンガ」を制作します。題材は初代孤野藩主、土方雄氏の妻、八重姫。織田信長譲りの気位の高さを持ちつつも清く美しい女性であったと言われる八重姫がどのように描かれるのか。注目のマンガ制作が始まります。

The story of Yae-hime

マンガ用設定ストーリー
八重姫は、織田信長の次男である織田信雄の娘で信長の孫娘に当たり、八重姫が4歳の頃に当時8歳でのちの孤野藩初代藩主「土方雄氏」と婚姻が決まっていた。八重姫が14歳になると信長譲りの気位の高さと気性の激しさを兼ね備えた清く美しい女性へと成長していった。ある時、八重姫は江戸から数人の家老を従えて、雄氏の待つ孤野藩に移住することとなりました。道中の箱根の関所にて、ある家老が八重姫一団の通行手形を忘れてしままい、関所の役人に止められてしまいました。家老が身分を示す品々を見せるも、役人は首を縦に振らず、家老は諦めかけていました。すると、八重姫は付き人に持たせた薙刀(なみたち)を取り、役人の首を目標けて、一閃、その薙刀を振りかざしました。役人に対して微塵も畏れないその風貌と織田家の家紋を呈した薙刀を見た役人は頭を下げ、八重姫一団は関所を通してもらえました。通行手形を忘れた家老は、八重姫の前で切腹し、許しを請うつもりでしたが、八重姫は罪に問うこともなく、その後自分に精進して仕えてほしいと家老の同行を許しました。孤野藩についた八重姫は、家老や領民などの身分の差に隔たりなく接し、領民にも慕われながら孤野藩を支えていくこととなりました。

議会からもアナウンスはあると思いますが、3月に開催された令和4年孤野町議会第1回定例会から本会議の様子が一部、インターネットで視聴することができます。議員の皆さんは孤野町の取締役、私は孤野町の社長、そして皆さんは孤野町の株主ということで、ぜひ役員の仕事ぶりをご覧になってください。皆さん一人ひとりができることで孤野町を住みよい町にする。そのための一つの方法が、私たちへの監督です！難しそうで自分にはわからないかも…という方には、生涯教育として孤野町行政の基礎知識を皆さんに広め、もっと町政が身近になるように心掛けたと思います。



▲閉会后1週間程度で議会ホームページから視聴できます。

町長のひとり語り

The Story of our Mayor

Theme 37 インターネットで議会の視聴を

また、4月から役場の組織が大きく変更されます。先月の広報こもの3月号に掲載した私と教育長との対談でも触れましたがコミュニティ振興課、上下水道課を新設します。コミュニティ振興課は、1年前に設置した住民連携室を社会教育課と統合し強化するものです。どんどん町にも私自身が皆さんの声を伺いにまいります。また、観光産業課とも連携し、文化・スポーツのイベントを盛り上げていくことにつなげるほか、今年「子どもの権利条例」を制定し、子どもを孤野町全体で大切に育てよう、という生涯教育を行うにあたり私が直接、指揮をとります。このほか、政策推進室もパワーアップする仕組みを人事異動とともに来月の広報では発表します。いつまでも、どこでも住みよく、賑わいと憩いとうるおいのある町づくりを強力に推進していきます。明るいま来に向けて頑張ります。



未来の漫画家募集



「孤野町偉人マンガ」を描いてくれる孤野町にゆかりのある漫画家を募集します。応募作品は、設定ストーリーに書かれていない事項を脚色しても構いません。詳しくは、町ホームページから募集内容をご確認ください。

応募期限 4/25



完成時期 令和5年3月末

発行部数 3,000部(予定)

活用予定

小学生を対象に「孤野町偉人マンガ」を教材とした授業などに活用

今後の予定

漫画家募集とともに、地域や専門家の方々と実行委員会を設立し、制作を進めていきます。

※当事業はB&G財団の「海洋センター所在自治体による偉人マンガ製作と活用事業」を活用しています。

問い合わせ
コミュニティ振興課
TEL 391-1160
FAX 328-5995

土方家の墓とともに見性寺に残る八重姫の墓。八重姫の戒名「玉雄院」の名が刻まれています。

